

学校用務員関係資料

質問項目	正職員	臨時職員
平成21年度配置状況	38名	16名
平成20年度実績	40名	14名
勤務日数	246日	215日
賃金・手当	23,799万円	2,255万円
社保・退職金負担等	7,972万円	299万円
合計	31,771万円	2,554万円
1人当り金額	794万円	182万円
1日当り金額	32,276円	8,465円
1時間当り金額	4,034円	1,058円

千四百円余、1時間当り正職員四千円余、臨時職員一千円余となります。

質問 正職員を臨時職員の人件費に置き換えると年間2億2千万円の減額になります。当面2人を1人にして差額の一部でシルバー人材の活用や外部委託を検討すべきと考えますが伺います。

教育長 2人目の用務員については弾力的に考えて行かなければと思います。

○世界遺産登録に向けた取り組みについて
○老後を安心して住める街づくりについて
○生活道路の整備について



せき しょう子
議員

質問 白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡について平成23年の登録からはずれる事となった訳ですが、今まで一生涯懸命支援して来た地域住民の皆様方の対応を含め、今後の取り組みを伺います。

市長 日本政府だけで決められない現実もあるので、まずは23年の登録を実現してほしいです。また文化庁には国としての責任と追加登録の目途年数を文書で頂きたい事や財政支援の要請をしておりま。地域住民の皆様には過度な負担をかけない様しっかりと取り組んでまいります。

質問 介護保険料の見直しが行われましたが、平成23年度までの3年間の計画であります。高齢化率が確実に上昇しており、施設の入所希望者は600名を超えております。また老々介護・※認々介護の存在や支えている家族の皆様の負担も相当大きなものとなって来ています。中長期計画をしっかりと

立てて市民を安心させるべきと思いますが市長の所見を伺います。

市長 不安を解消し長期的な目標設定とその達成の手段を示さなければならぬと思っています。国の補正予算も着きましたのでしっかりと対応してまいりたいと思います。

※認認介護：認知症の人が認知症患者を介護すること。

質問 家の前の生活道路が県道である市民が多くおります。保守・点検・修復等管理全般の市との連携や責任の所在について伺います。

市長 小さな個々の問題発生についてはすぐ対応するよう指示しています。大きな費用が伴う状況については住民とよく話し合い進めてまいります。



対策（雨水の浸水等）が急がれる前沢区の県道

○不正経理に外部監査を導入すべし
○公益法人、社会福祉法人等の指導監督は



うちだ かずよし
内田 和良
議員

質問 昨年12月議会において市の不正経理問題についてお尋ねし、市民に対して市の経理の透明性を確保するため公認会計士、税理士による「外部監査」の導入を要望しました。市長は「不正経理の実態調査後、検討したい」と答弁しました。

私は7年程前、水沢市時代にも要望しました。当時の後藤市長はこれに対し、それまで慣習的に幹部職員OBが就いてきた監査委員に替えて民間人である銀行役員OBを監査委員に登用し、一定の監査改革を実現しました。

この度の不正経理問題について、佐々木代表監査委員は、「監査方法を強化する考えはあるか」の質問に「従来の方法では難しい」と答弁しています。

市の不正経理問題に結論が出た今日、合併後の奥州市においても市民の信頼を獲得し、また職員の不正防止と士気向上のためにもプ